

# 町政を問う!

## 一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 根岸富一郎 議員

1. (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設整備について
2. 地域福祉に町の力と責任を

### 森 利夫 議員

1. 新給食センターについて
2. 総合福祉センターと(仮称) 鳩山町地域包括ケアセンターについて

### 大賀 広史 議員

1. 防災対策について
2. 子育て・教育支援について
3. 鳩山町の「地方創生」について
4. 交通安全対策について

### 小川 唯一 議員

1. (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設について
2. 庁用車にドライブレコーダーの設置を

### 石井 徹 議員

1. 5年後を見つめたまちの活性化(町への来訪者の拡大)について
2. (仮称) コミュニティマルシェ(旧西友リビング館)の事業について

### 中山 明美 議員

1. 精神障がい者の支援について
2. 若者の政治参加を推進する施策はあるのか

### 石井 計次 議員

1. 災害対策について
2. 産業廃棄物・不用品不法投棄について
3. 交通安全対策について
4. 財政問題について

### 小鷹 房義 議員

1. 町道の安全管理について
2. 鳩山町ふれあい農園について

### 小峰 文夫 議員

1. 庁用大型バスについて
2. 鳩山ニュータウンについて
3. 鳩山中学校グラウンドについて
4. 町が企業誘致したオーガニックハウス鳩山農場について

## (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設整備

### なぜ? 誠意ある対応ができないのか

### 諸問題も協定に書込めるよう話し合う



根岸富一郎 議員

**問** 以前取った地権者との仮同意書は、地元対策協議会が同意すれば良いことだけでなく、町の誠意が重要なことではないか。

**答** 土地は個人の財産であり、土地所有者の事業に対する理解と同意をいただき、土地の提供を受けて建設させていただく。

**問** 大きな課題について地域や土地所有者の本音一つひとつを文章化する必要があるか。

**答** 話し合ってから確認し、協定書に明記できるように進めたい。

**問** 社協へ派遣職員増を

**答** 社協はケアプラン作成事業も、デイサービス事業も止めるが、職員の派遣増はないのか。

**問** ボランティアコーディネーターを行う職員体制を社協と協議したい。

**問** 地域包括支援センターの職員体制はどうなるか。

**答** 現在5人で運営しているが、今後、職員体制を検討する必要がある。



しっかり地元との話し合いを

**問** 地域福祉政策課長を置く考えは。

**答** 今すぐには答えられない。

**問** その人らしく生きられるよう、民間事業所が少なくともパートを雇い、一定の基準で働く人が必要と思うがどうか。

**答** 国からのお金が減らされ、町が出すようになる、いつまで続けられるか分からない。そこで、多くのボランティア活用が大切と考える。

森 利夫 議員



総合福祉センター

町のデイサービス廃止はいつか

事業の廃止は来年の3月末

**問** 昨年12月の定例会では、(仮称)鳩山町

地域包括ケアセンターが完成しても、総合福祉センターは今まで通り運営すると答弁していたが、デイサービス事業の廃止を決めた理由と経緯は。

**答** 昨年度の介護保険法の改正や、介護職員の不足、民間事業所の増加にもなる稼働率の低迷等によるものである。

**問** 現在、総合福祉センターで、デイサービスを受けている人数は。

**答** 38人利用している。平成27年度の開所日数は2988日で、1日平均13.4人が利用している。

**問** 今後、利用者への対応は。

**答** デイサービスの現状と、事業の廃止を説明すると共に、来年の3月末までに、他の事業所へ移っていただくようお願いしている。

**問** デイサービスを廃止すると、どれ位の広さが空くのか。

**答** 約205平方メートルである。

**問** 2、3年前、大規模改修をしたが、投資の一部が無駄にならないか。

**答** 平成25年に給湯設備等改修工事として、約1億1500万円の工事を実施した。福祉センター全般の工事であり、無駄とは考えない。

新給食センター

**問** 前の定例会で、給食だけでなく、配食サービスも可能と答弁したが設計変更等を検討したか。

**答** 実施設計書に基づき既に入札会を執行し、(株)田中工業が落札した。給食の安定稼働が軌道に乗った後、配食を慎重に検討したい。



「デイサービス事業が廃止になる「総合福祉センター」」

風水害対策

鳩山町水防団との協働・連携は

消防組合と協力をお願いしていく

**風水害対策について**

**問** 町内で道路冠水や土砂の崩落が発生している。近年の大雨の状況を鑑み、鳩山町水防団との連携強化が必要では。

**答** 広域消防組合と連携しながら、出動や訓練などについて検討する。

**問** 各自主防災組織の防災訓練の状況は。

**答** ここ数年実施が減少しているようだ。町としても実施を支援していく。

**子育て・教育支援**

**問** 町で今後整備を検討している、子育て包括支援センターとは。

**答** 結婚・妊娠から子育て期にわたって切れ目のない支援を行うため、福祉・健康複合施設に移転予定の地域包括支援センター跡地に改修して、整備したいと考えている。

**問** 東松山中学生が暴行・殺害された事件が起きた。逮捕された中学生は不登校や問題行動を起こしていたらしいが、学校という場所以外で起きる事件にどう対処していくべきか。

**鳩山町の地方創生**

**問** 旧西友リビング館跡地の利用について伺う。

**答** 地方創生事業として、現在の時点では「空き家情報センター」と「コミュニケーションカフェ」、「シェアオフィス」などを考えている。

**交通安全対策について**

**問** ベイシア前の信号機改善要望の進展は。

**答** 定周期性信号への変更の方向で進んでいる。



おしゃもし山公園内、通学路の土砂崩落

小川 唯一 議員



## 建設に向けて重大な覚悟で臨む

### (仮称) 鳩山新ごみ焼却施設

### ギブアップも英断

**問** 地区対策協議会でどのような意見があったか。

**答** 町担当者は会議に出席していない。焼却施設の稼働期間を30年とするのはやむを得ないとの意見であった。

**問** 焼却施設稼働終了後、町が取得することについて要望書が出されているが、30年後に町民が負担する事を考えて可能か。

**答** 施設稼働開始後、速やかに基金の積立て等、財政措置を講じる。

**問** 北部地域活性化基金は焼却施設関連の事業に使えるか。

**答** 北部活性化事業と地元対策事業を明確に区分し活用する。

**問** 越生駅から高坂駅へのバスの運行をするかどうかの判断基準は。

**答** 利用者数が最も勸励すべき事。どの程度の税負担が必要か、も判断基準になる。

**問** 焼却施設が伸びた場合、バスの運行はどうか。

**答** 焼却施設の進捗状況に影響されることなく実施すべき事業。

**問** 高倉クリーンセンターの皆さんに迷惑をかけた事、施設延命工事に多額な費用が掛かった事に對し町長の考えは。

**答** 高倉の地元の皆様一市三町の皆様にご心配をかけたこと、深くお詫びをする。

**問** これ以上迷惑をかけられない、早めのギブアップも英断であると思うが。

**答** 施設建設に向けて重大な決意、覚悟を持って望む。

**問** **ドライブレコーダーの設置**  
庁用車にドライブレコーダーの設置を。庁用車全車に設置する。



遅々として進まぬ施設建設

石井 徹 議員



## 新施設の誕生で大いに期待できる

### 町の活性化策

### 町外からの5年後の来訪者は

**問** 町の活性化策の1つとして、来訪者増大に期待できるものはあるか。

**答** 先ずは北部エリアの(仮称)鳩山新ごみ焼却施設の建設、同時に進める北部活性化事業により来訪者が期待できる。

ごみ焼却場では、外周の道路整備によりウオーキングやジョギングも可能、施設内もオープン型とし、見学エリアを設け多くの見学者を見込める。北部地区活性化事業では、交流体験施設や農産物直売施設の整備を進め、多くの来訪者が期待できる。

次に、南比企業跡群の国の指定史跡化を進め、将来的にはガイダンス施設の整備を考えており、見学スペースや学習室をはじめ、焼き物作り体験コーナー等も設置し、多くの方が訪れる施設として整備してゆきたい。

**問** 来訪者を迎え入れた際の休憩や飲食の提供のできる新たな施設は。考えていない。旬の花についても現状の運営で利

益確保を支援してゆく。

**問** 来訪者が訪れる目的の大きな要素である特産品については。

**答** 旬の花の鳩豆うどんをはじめ、大豆を中心に鳩山ブランド化を目指す。

あんずは5年後には農業生産法人化を目指しジャムやジェラート等に加工し6次産業化を進める。

**問** 遊休農地を活用して蕎麦での町おこしは。

**答** 不可能ではないが、時間が必要。



今後大きく変わる亀井地区、中央が亀井小学校

中山 明美 議員



障がい者福祉

精神障がい者に対する町の取り組みは

コミュニティサロンの開設を検討

問 精神障がい・精神障がい者に対する町の取り組みは。

答 町独自の取り組みとして、精神障がい者とその家族や支援者が気軽に交流や相談などができる場として、精神障がい者等コミュニティサロンの開設を検討している。

問 開設の目的は何か。

答 引きこもりがちな精神障がい者の方に、安心して集える場、悩み事を相談できる場、仲間づくりができる場などをつくることにより、精神障がい者の方の自立の促進、社会参加の促進を図るとともに、そのご家族を支援することを目的としている。

問 場所等は決まっているのか。

答 開設は10月下旬、月1回のペースで継続して実施する予定。参加費は無料。場所はふれあいセ

精神障がい者も支援者も気軽に集まれる場所を

ふれあいと支えあいのある安心な暮らしを  
福山市精神障がい者等コミュニティサロン事業

### コミュニティサロン ボランティア募集

精神障がいへの理解を深める講習会を開催します！

福山市では今年度、精神障がい者とその家族や支援者が気軽に集まれる場所として精神障がい者等コミュニティサロン(以下「サロン」といいます。)の開設を検討しています。

サロンの開設に向け、サロンの運営等にはお力を貸していただけるボランティアを募集します。ボランティアの皆さんには、町職員・精神障がい者とその家族と一緒に関わりあうことやその役割の大切さを知り、交流を図るためのイベントの企画するなど、精神障がいに対する理解を促進する活動のお手伝いをさせていただく予定です。

また、この機会に、より多くの方に精神障がいについて知っていただくため、東京国際大学 人間社会学部 福祉心理学科 石井 計次 先生にお話を伺います。講師の先生のお話を伺い、ご自身の心の中にある思いや悩みを共有し、心を開き、支えあえる仲間づくりを期待しています。

Profile  
石井 計次 先生  
東京国際大学 人間社会学部 福祉心理学科 准教授  
日本福祉学会 理事  
日本福祉学会 理事  
日本福祉学会 理事  
日本福祉学会 理事  
日本福祉学会 理事

お問い合わせ先 福山市健康福祉部 障害者福祉課  
電話 049-296-1241 FAX 049-296-3390

ンターを考えている。

問 具体的な内容等は、ボランティアの皆さんのご意見を伺いながら決めていきたいと考えている。

答 ボランティアの申込み状況はどのようか。

答 平成28年9月6日現在で、申込者は15名。

問 ボランティア育成を兼ねた講習会を実施しているようだが、その内容と参加人数は。

答 精神障がいへの正しい理解をしていただくための講座を5回シリーズで行っている。1回目は「共に支えあうまちづくり・地域福祉とボランティア活動」というテーマで33名。2回目は「引きこもりを考える・現代社会の生きづらさ」で36名の参加があった。

災害対策

台風9号から学び得たものは何か

迅速な行動の大切さを再認識した

石井 計次 議員



問 8月22日の台風9号では、所沢市で1時間76ミリの観測史上最大の降雨量を記録した。東松山市など6市は一部に避難勧告。県内少なくとも114棟が床上、床下浸水の被害も報告された。今回の台風9号から学び得たことは何か伺う。

答 本町では1時間当たり50ミリ超の記録的降雨量を記録した。この影響で県道岩殿・岩井線の重郎橋周辺が冠水し、通行止めの交通規制が実施された。

問 今回の台風9号から学び得た事は、危険個所の把握と迅速な行動がいかに大切か再認識した。

答 重郎橋冠水による通行止めは、概ね3年に1度の頻度で発生している。原因は河川改修の遅れが起因している。

越辺川・鳩川の合流する河川改修の国・県の進捗状況を伺う。

答 改修区間を通る県道岩殿・岩井線は歩道もなく急カーブで見通しも悪く危険な状況にある。

重郎橋の架け替えを含め県道、約600メートルの道路整備、鳩川の未改修区間200メートルを一体的に整備できるように調整しているが、暫く時間を要する見解が示されている。

問 過去、事業所の移転の影響を避けるため越辺川の河道を変えない改修計画案があった。事業所への影響がなければ計画の実現は加速すると考える。河道を変えない改修計画を関係機関と協議検討できないか。

答 河道の位置を含め過去、様々な検討が重ねられた。国はいろいろ検討している事項があるが、事業化へ向け国に対し要望をしていく。ご理解いただきたい。



冠水により通行止め規制された重郎橋周辺

小鷹 房義 議員



道路の交通安全

子供たちの交通安全対策は

交通安全マップを作成している

**問** 毎日通う通学路で子ども達にとって危険な箇所がないか。

**答** 子ども達の目を通して、危険と感じた箇所を知り、交通安全に活かしている。積極的に学び、その経験を活かして安全につなげていくために、交通安全マップを作成している。5年ごとに安全点検を実施して、各学校から危険箇所の報告を受け、県土整備事務所に報告をする。今年度の報告件数は亀井小7件、今宿小9件、鳩山小5件、鳩山中3件であった。

**問** 積雪時での交通安全対策はどうか。

**答** 町では道路が凍結する箇所は把握しているので、そういった箇所への凍結防止剤の散布は対応する。しかし、歩道などへの凍結防止剤の散布や除雪等は地域の皆さんの協力が必要となる。

**問** 注意喚起を目的とする交通安全の看板は適切に設置されているか。

**答** 役目を果たせなくなった看板は担当課のほうで確認次第、撤去や交換をしている。

**問** 現在144区画ある「ふれあい農園」の借り受け人数と貸付状況は。

**答** 過去5年間の状況では、毎年60人以上の方が借り受けて116区画以上が利用されている。

**問** 新たな地域に「ふれあい農園」を開設できないか。

**答** さらに利用者が増えれば、新たな農園の開設を考える必要がある。

**問** 有機農業科を新設した埼玉県農業大学校のように、町の農園でも有機農業コーナーを開設してはどうか。

**答** 農薬が飛散するため、同じ農園内で通常の農法と、農薬や化学肥料を使わない有機農法の区画を隣接させるのは難しい。



ふれあい農園で大収穫

小峰 文夫 議員



庁用大型バス

庁用大型バスの安全対策は

3ヶ月点検や適切な維持管理

**問** 庁用大型バスについて行距離はどの位か。

**答** 大型バスの走行距離は、8月末現在で総走行距離36万9085キロメートル。

**問** 庁用大型バスは何年型なのか。

**答** 平成8年式、初年度登録は平成8年1月。

**問** 鳩山町民を乗せて遠距離運行に支障はないか。

**答** 町では鳩山町庁用バス使用規程と鳩山町庁用バス使用細則を整備し、庁用バスの安全運行に取り組んでいる。

庁用バスは各種団体など、多くの方が利用しているが、事業の内容によっては長距離を運行する場合があります。

使用規程では利用団体に対して、運転者を補助するための運行補助者を選任することやバスの使用時間、運行距離に限度を設けるなど運転者の負担とならないよう、ご理解・ご協力をいただきながら細心の注意を払い、

安全な運行に努めている。また、購入してから20年を経過しているの

で、走行距離数の増加や経年劣化による部品交換修繕により対応している状況である。

運行中は町民の皆様の大変な命を預かることになるので、法定点検を初め、3ヶ月点検や適切な車両の維持管理、運転者の健康管理にも十分留意して、今後も安全な運行に取り組んでいく。

**農場** **オーガニックハウス鳩山**

**問** 鳩山町が誘致した薬糧開発、オーガニックハウス鳩山農場の状況について。

**答** 残念ながら地権者の同意が得られず撤退となりそうだ。



買い替えが望まれる庁用大型バス